

第6講 『めまい・耳鳴りと難聴』

『めまい』

【別称】： 「眩暈」、「目眩」、「眩冒」と呼ばれる。

⎧	眩	……………	目がかすんで目の前が暗くなるもの
	暈	……………	ぐるぐる回って見える、物が揺れ動いて見える
	眩暈	……………	眩と暈が同時に起きるもの
	目眩	……………	目がかすんで頭がくらくらするもの
	眩冒	……………	ひどく頭がくらくらし目の前が暗くなるもの

【分類】 ⎧ 実証： 痰濁
虚証： 気血両虚、腎精不足
虚実挟雑： 肝陽上亢

『耳鳴り・難聴』

【別称】： 「耳鳴」「耳聾」と呼ばれる。

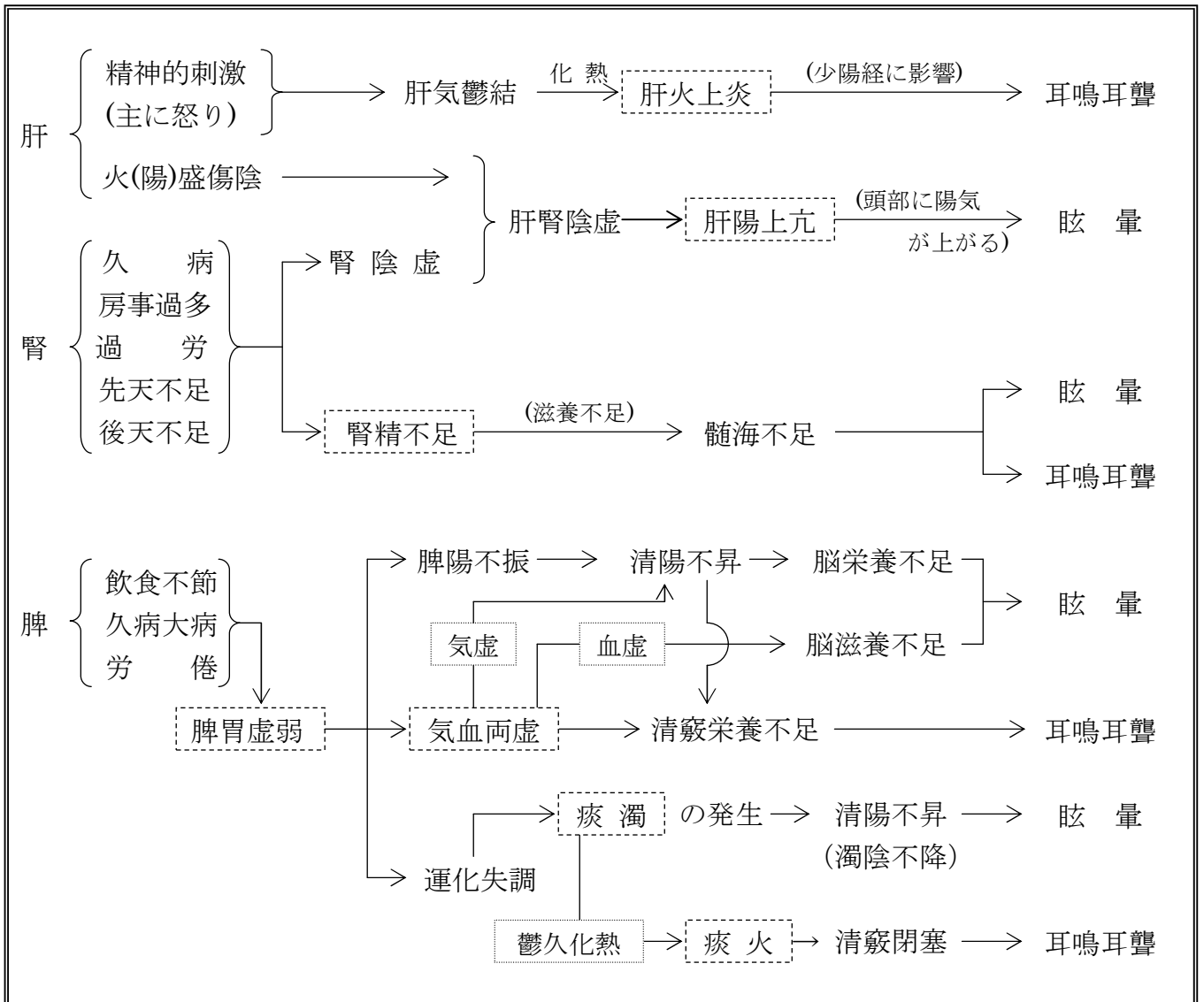
【分類】 ⎧ 実証： 肝火(上炎)、痰火
虚証： 脾胃虚弱、腎精不足

【弁証の要点】

『耳鳴』 ⎧ 実証：突然発症、セミの鳴き声か波のような音が持続的にある。耳を塞いでも軽減しない。
虚証：徐々に発症、耳鳴りの音は小さく低い、断続的におきる。活動後悪化する、耳を塞ぐと軽減する。

『めまい』 ⎧ 実証：断続的に強いめまいがおこる。物を見るとグルグル回ってひっくり返るような感じがする。
虚証：持続的なめまい。実証ほど強いものではない。活動後悪化する。

【 病因病機 】



【 症状と処方例 】

『めまい』

1. 肝陽亢進（肝陽上亢）

[症 状] 眩暈、耳鳴り、頭部の脹痛、怒ると増悪。イライラして怒りっぽい、不眠、多夢、口苦、顔面紅潮または五心煩熱、盗汗、腰膝酸軟、遺精、舌紅苔黄・脈弦数、または舌紅苔少・脈弦細数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
風 池	胆 経	清肝胆火 清利頭目	乳様突起下端と瘻門穴の中間、陥凹部
俠 谿	胆 経		第 4 中足指節関節の前、外側陥凹部
陽 輔	胆 経		外果から陽陵泉穴に向けて上 4 寸のぶより前 3 分
太 衝	肝 経	平肝潜陽	足背にあり、第 1・2 中足骨底間の前、陥凹部に取る
太 谿	腎 経		内果の最も尖ったところの高さで、内果とアキレス腱の間

2. 痰 濁

[症 状] 眩暈、頭が重くぼんやりする。食欲減退、悪心嘔吐(涎や痰が多い)、多痰、舌苔厚膩、脈滑数

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
風 池	胆 経	疏調頭部気機	乳様突起下端と瘻門穴の中間、陥凹部
印 堂	奇 穴		眉間中央陥凹部
足三里	胃 経	健脾和中 除湿化痰	膝を立て、外膝眼穴の下 3 寸に取る
中 腕	任 脈		前正中線上、臍の上 4 寸
太 白	脾 経		足の第 1 中足指節関節の後、内側陥凹部に取る
豊 隆	胃 経		外果の上 8 寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部に取る

3. 気血両虚

[症 状] よく眩暈が起こる、横になると軽減する、疲れると誘発する。顔面蒼白、唇や爪の血色が淡白、息切れ、話すのがおっくう、疲労感、不眠、心悸、食欲不振、舌質淡、脈細無力。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
百 会	督 脈	昇 清	正中線上、前髪際の上 5 寸
脾 俞	膀胱経	健脾和中 補気養血	第 11・12 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
膈 俞	膀胱経		第 7・8 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
足三里	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下 3 寸に取る
三陰交	脾 経		内果の上 3 寸、脛骨内側縁の骨際

4. 腎精不足

[症 状] 持続的な眩暈、疲れると悪化する。足腰の無力感だるさ、耳鳴耳聾、遺精、脱毛、舌淡、脈虚。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
百 会	督 脈	疏調頭部気機	正中線上、前髪際の上 5 寸
風 池	胆 経		乳様突起下端と瘻門穴の中間、陥凹部
絶 骨	胆 経	補腎填精	外果から陽陵泉穴に向けて上 3 寸
腎 俞	膀胱経		第 2・3 腰椎棘突起間の外 1 寸 5 分
太 谿	腎 経		内果の最も尖ったところの高さで、内果とアキレス腱の間
三陰交	脾 経	補 後 天	内果の上 3 寸、脛骨内側縁の骨際

『耳鳴り、難聴』

* 対症選穴（基本穴）：

	経絡	意義	取穴部位
翳風	三焦経	気痛耳内 聡耳啓閉	耳垂の後方、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部
聴会	胆経		耳珠の前下方、陥凹部

1. 肝火（肝火上炎）

[症状] 突然発症、耳の脹痛、たえず耳鳴りがある。頭痛、顔面紅潮、口苦、咽頭部の乾き、心煩、怒りっぽい、便秘、舌紅苔黄、脈弦数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
翳風	三焦経	気痛耳内 聡耳啓閉	耳垂の後方、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部
聴会	胆経		耳珠の前下方、陥凹部
侠谿	胆経	清少陽経熱 宣通耳竅	第4中足指節関節の前、外側陥凹部
中渚	三焦経		手背にあり、第4中手指節関節の上、尺側
太衝	肝経	清肝火	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部に取る

2. 痰火

[症状] 突然発症、頭が重くぼんやりする。胸悶、痰多、食欲減退、泥状便。舌苔厚黄膩、脈滑数・濡数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
翳風	三焦経	気痛耳内 聡耳啓閉	耳垂の後方、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部
聴会	胆経		耳珠の前下方、陥凹部
太白	脾経	健脾利湿	足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部に取る
豊隆	胃経	清熱豁痰 通清竅	外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部に取る
内庭	胃経		足背にあり、第2中足指節関節の前、外側陥凹部

3. 脾胃虚弱

[症 状] 徐々に発症、慢性病から起こることが多い、耳鳴は間歇性で疲れると発症あるいは増悪する。倦怠疲労感、無力感、食欲不振、眩暈を伴うこともある。舌淡、脈虚無力。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
翳 風	三焦経	気痛耳内 聡耳啓閉	耳垂の後方、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部
聴 会	胆 経		耳珠の前下方、陥凹部
足三里	胃 経	補益脾胃 滋養耳竅	膝を立て、外膝眼穴の下3寸に取る
中 腕	任 脈		前正中線上、臍の上4寸
太 白	脾 経		足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部に取る
章 門	肝 経		第11肋骨前端下際に取る

4. 腎精不足

[症 状] 次第に耳鳴り・難聴となる、疲労時に増強、按じると軽減、夜間に増強。めまい、腰のだるさ、遺精、帯下、不眠。舌紅苔少、脈細弱・細数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
翳 風	三焦経	気痛耳内 聡耳啓閉	耳垂の後方、乳様突起と下顎枝の間、陥凹部
聴 会	胆 経		耳珠の前下方、陥凹部
腎 兪	膀胱経	補腎填精 上栄耳竅	第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分
関 元	任 脈		前正中線上で臍下3寸
太 谿	腎 経		内果の最も尖ったところの高さで、内果とアキレス腱の間